

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 みずきキッズクラブ 児童発達支援事業所

公表日 2025 年 2 月 1 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・体を動かす際は放デイの部屋も利用し、十分に体を動かせるようにしている。また公園や施設を利用しながら体を動かすようにしている。 ・部屋数も少ない為、パーテーションやマット等で構造化している。	・基準以上は満たしているものの、椅子に座っているだけの活動スペースとしては十分なかもしれないが、普通に動き回る余裕は少ないように感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・午前中は放デイに当たる職員も入り手厚い支援ができる。 ・1対1で関わりを持ち、制作したりしながら個々に合わせた支援をしている。	・配置基準は満たしているが、定員マックスの際の人員は足りないと感じる。 ・基準は満たしているが、より良い支援となるともう少しの方が良い。しかし収益と比べると難しい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・視覚で見え分りやすいようにマットを色別にしたりする工夫はしている。 ・環境を常に整え、子供たちが利用しやすいようにしている。	・収納場所等は工夫しているが分りにくさがある。 ・児童発達用の男の子トイレが、ガラス越しにお尻が見えてしまう事も有る、見えない配慮が必要と感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・Airdogを設置している。また毎日の清掃も取っ手や玩具等も含めアルコール消毒を実施している。 ・活動によっては放デイの部屋をオープンし利用。十分に体を動かせるようにしている。	・活動の内容にもよるが身体を動かす活動では手狭である。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・使用可。個別でも対応できるように配慮はしてある。 ・大きな部屋を活動によって個別に区切る等の工夫をしている。	・個別スペースは足りていないと感じる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・会議の場を増やし、意見を出せる場を増やしている。	・少しずつ会議などは増えているが共通理解の場は少なく感じている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・会議を設け、ご家族様からの意見を周知している。またその他送迎時や面談時等にも意見を聞き、伝えるなどし業務改善に繋げている。	・設けてはいるようだが内容までは把握できていない。 ・全ての意見については改善されてはいない。集計した際には職員へ共有しているが、1年に1度の為忘れてしまう。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員会議や朝礼で周知、また時間があれば意見交換等をし情報を共有している。	・会議等は設けてはいるが、まだまだ少なく感じている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・現在第三者評価は実施していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		・今年は研修の機会が少なかった。義務化されている研修を行うだけでも日程合わせが大変な現状。来年は多くの研修に参加できるよう計画していく予定。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・毎月事業所内ではガイドラインに沿ってプログラムを立案し実施している。	・現段階では公表していない。今年度中に公表予定。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・モニタリング時及びその他送迎時など、課題やニーズを聞き、計画に落とし込んでいる。また職員間でもしっかり分析、対応できるように努めている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・毎朝、その日利用する子ども達に関して、支援の方向性等を確認する等、統一できるように工夫し検討している。	・ケース会議はでき始めているが十分ではない。 ・実施の面で統一になっていない事も有る為改善が必要。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・全員が目を通すようにしている。また計画を作成するにあたり、会議を実施し、支援の方向性の確認等実施している。	・実施の面で統一になっていない事も有る為改善が必要。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・皆で案を出し合いながら、楽しみながらできる活動を考えている。 ・全ての職員が参加できるようにしている。	・個人担当になりつつある。メンバーによっては上手く行く時もある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・固定してしまわないようにアイデアを出し合ったり、固定のプログラムでも継続が必要な物等工夫しながら取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・早い段階での情報、計画の提示が必要。 ・個の状況と、ご家族様のニーズに応じて作成し実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・サービス担当者同士で支援前に情報を共有したり、朝礼で確認、ケース会議等も開催し情報共有できるよう工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	・送迎もあり全体では難しいが、各々サービスに関わった職員同士で振り返りし、共有した方が良い事や疑問に思う事等は朝礼や会議に落とし込み話し合いをしている。	・送迎があり、全体では難しい現状である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・システムの活用で対応できている。	・もう少し詳しく記載できる所があれば良いと感じる。 ・検証までは繋がっていないと思う。振り返る余裕がない。 ・記録に集中し過ぎて支援に影響が出る事もある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・ケア会議を実施し見直しの必要性を行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・実際支援に関わっている支援者も参加し、現状報告と連携について把握できるようにしている。 ・管理者も現場の状況を把握している。	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・担当者会議では相談支援や保健師、保育所等関係機関が参加し連携して支援を実施している。	・関係機関によってはない所もある為働きかけが必要である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・担当者会議や相談支援との情報共有、保育所等と直接の連絡し情報の共有、見学を実施する等関わりを持っている。併行利用や移行に向けた情報共有なども実施している。	・実施はしているものの、全ての子どもではない為働きかけが必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・まだ数少ない移行ではあるが、移行時には実施している。	・実施はしているものの、全ての子どもではない為働きかけが必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		現段階では実施していない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	保育所等での交流ではないが社会資源活用時に他児との関わる機会はある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・送迎時に日頃の様子について話をするなど共通理解を持ちながら支援に当たっている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・現段階では実施していないが、モニタリングや送迎時等に相談は受け付けており、何かあれば助言等させて頂いている。 ・研修への参加等で職員が対応できるように体制を整えていく必要がある。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時に説明し、それ以外に質問やご相談があった際には都度説明させて頂いている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・必ず計画作成時には意向を確認し、計画に反映できるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・モニタリング時には勿論、他にもご相談のある時にはお声掛け頂くよう話をさせて頂いている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・現段階では実施していない。今後イベントなどを企画し交流の場を設ける事が出来たらと検討している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・必要時には面談を実施している。 ・迅速に対応できるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4	・保護者様向けにシステム上でみずきの様子を時折アップしている。 ・みずきご利用者様のみのシステム上ではお知らせ等しているが、個人情報もある為なるべく顔は出さないように配慮している。	・現在会報等は発信していない。 ・SNSに関しては親御様の意見も踏まえ、HP上等誰もが見える所へのアップは控えている。 ・予定等についてはこの先発信していけるよう検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報同意書を含め、SNS等の活用についても確認している。システム上写真を載せる為、他児の連絡帳への掲載には気を付けている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・事業所だけではなく関係機関も交え、情報を共有しながら誰でも対応できるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・今年は開催を見送ったが、相談支援事業所の方や関係機関の方へお声がけさせて頂きイベントを実施した経緯はある。イベント等を企画し地域の方を招いた活動も実施できれば良い。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		・マニュアルも策定し、訓練も実施しているが開示になってない。早急に対応したい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPの策定をし、実施もしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・アセスメント時に確認し対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・医師の指示書は頂いていないが、ご家族様より確認している。アレルギーがある場合には、対象の物については完全除去させて頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		・作成はしているが、十分な訓練がまだまだ不足している。これから研修や訓練を実施し安全に支援できるようにしていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		・まだ周知まで至っていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		・ヒヤリハットや事故があった時には予防策も含め書面を起し、職員間では共有できるように努めているが検討するまでには至っておらず、研修を計画している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・内部、外部研修を実施し共有するようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	・現在身体拘束を必要とする利用者様はいない為実施する事はないが、必要時には計画に落とし込み、保護者様へ説明し実施。実施した内容は記録に残すようにする。研修も実施している。	